

平成 29 年度 認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

平成 30 年 5 月
伊丹市（兵庫県）

○計画期間:平成28年4月～平成33年3月(5年)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成 29 年度最新時点(平成 30 年 3 月 31 日時点)の中心市街地の概況

本市は、認定基本計画において「質の高い地域資源を活かし、選ばれるまちに～にぎわいと郷町（まち）の活力（ちから）を未来（このさき）へ～」をコンセプトとし、「歩いて楽しい、文化の香り高い郷町（まち）なか」、「まちの魅力を高め、訪れたい郷町（まち）なか」、「もてなし心のある、住みたい郷町（まち）なか」という 3 つの目標を掲げている。

平成 29 年度は、ソフト事業を始めおおむね順調に進捗している。事業の取組については、「まちなか大規模イベントの開催・拡充」や複数のイベント事業の開催により伊丹の魅力や中心市街地の賑い創出を図った。また、「自転車駐車場整備事業」によって通行空間の円滑化、「分譲マンション建設事業」や「民間賃貸住宅ストック活用事業」などの住宅関連事業によって定住人口の増加を図った。これらの取組により、「2 軸における歩行者・自転車通行量」及び「中心市街地における居住人口」は前年度から増加し、目標値の達成に向けて順調に進捗している。

また、「文化施設利用者数」については、「図書館交流事業」や「文化施設連携事業」を始めとする主要事業の実施とともに、目標達成に寄与する「自転車駐車場整備事業」による環境整備を行い、回遊性向上を図った。一方、「中心市街地空き店舗」においては、空き店舗を活用し開業する者へ一定期間家賃等の補助を行う「空き店舗出店促進事業」、創業者育成のための創業塾を開催し、魅力ある商業集積と空き店舗の減少を図ったことにより事業効果はあったものの、空き店舗数は基準値を上回る結果となった。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

（中心市街地区域）	平成 27 年度 （計画期間開始前年度）	平成 29 年度 （フォローアップ年度）
人 口	14,090 人	14,347 人
人口増減数	444 人	195 人
社会増減数	（※1） 61 人	125 人
転入者数	（※1） 261 人	615 人

人口・・・推計人口より 人口増減数・・・町字年齢別人口（住民基本台帳）より

社会増減数・転入者数・・・行政区別異動統計表より

（※1）・・・平成 27 年 6 月以前は住基システム上、小字別の該当数値を把握していないため、平成 27 年 7 月以降よりの数値で算出したもの

2. 平成 29 年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

2 か年の事業進捗は概ね予定通りに実施できていることにより、目標達成に向けて着実に進んでいる。また、伊丹市立図書館（ことば蔵）を始めとする特色ある文化施設の活用や、三軒寺前広場を中心とする 2 軸でのイベント事業の実施は中心市街地の活性化に寄与している。ただし、文化施設利用者数や特に空き店舗数については進捗数値が低いため、基本計画の推進を行政、市民、事業者、商業関係者及び関係団体が一丸となって取り組み、指標全体の達成に努めていただきたい。

Ⅱ. 目標毎のフォローアップ結果

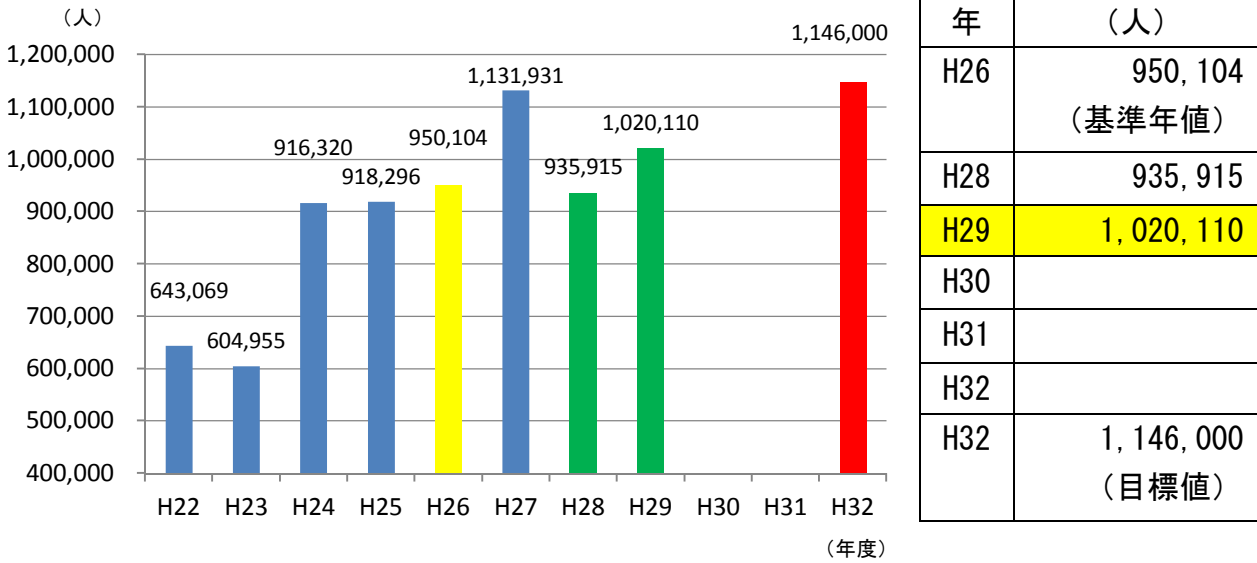
1. 目標達成の見通し						
目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の 見通し	今回の 見通し
「歩いて楽しい、文化の香り高い郷町（まち）なか」	文化施設（8施設）利用者数	950,104 人 （H26）	1,146,000 人 （H32）	1,020,110 人 （H29）	③	③
「まちの魅力を高め、訪れたい郷町（まち）なか」	中心市街地 空き店舗数	121 店舗 （H27）	90 店舗 （H32）	133 店舗 （H29）	③	②
	2軸における 歩行者・自転車通 行量	35,719 人 （H26）	41,000 人 （H32）	41,719 人 （H29）	①	①
「もてなし心のある、住みたい郷町（まち）なか」	中心市街地における 居住人口	13,928 人 （H27）	15,638 人 （H32）	14,317 人 （H29）	①	①
<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類> ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。 ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。 ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。 ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。						
2. 目標達成見通しの理由 「中心市街地における文化施設（8施設）利用者数」については、基準値となる平成 26 年度を上回ったが、同様のペースでは平成 32 年度の目標値に達することが難しいため、体験型イベント事業の実施など、実施できていない文化施設の連携強化やイベント開催などを進めていく必要がある。 「中心市街地の空き店舗数」については、基準となる平成 27 年度から 12 店舗増加しており、今後 3 年間で 43 店舗以上解消する必要がある。目標値を達成させるために、空き店舗の発生要因分析を行うことや、さらなる創業支援及び空き店舗の利活用、リノベーション事業の実施に向けた課題整理などに力を入れる必要がある。 「2 軸における歩行者・自転車通行量」については、中心市街地の定住人口の増加や歩行者空間の整備効果により上昇しており、さらなる事業の取組みにより目標達成が可能と見込まれる。 「中心市街地における居住人口」については、三世帯同居・近居促進事業などが一定の効果をあげ、上昇していることから、目標達成が可能と見込まれる。						
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由 「中心市街地空き店舗数」については、平成 28 年度フォローアップにおいては空き店舗リノ						

バージョン事業と空き店舗出店促進事業により 15 店舗が出店したことにより、空店舗数は前年度より 5 店舗の減少となり、創業支援や空き店舗の利活用にさらに力を入れることで目標達成可能③と見込んでいた。平成 29 年度においては、空き店舗出店事業による出店が 8 店舗、空き店舗リノベーション事業での出店実績はなく、いずれも前年度を下回るものであった。また、新たに空き店舗となった件数についても平成 28 年度の 60 店舗から平成 29 年度は 77 店舗と増加する結果となったため、②と評価した。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

①「文化施設（8 施設）利用者数」※目標設定の考え方基本計画 P79～P81 参照

●調査結果の推移



※調査方法：各文化施設利用者及びイベント入場者集計

※調査月：平成 29 年度（平成 30 年 3 月末時点）

※調査主体：伊丹市

※調査対象：各文化施設（東りいたみホール、アイフォニックホール、アイホール、工芸センター、柿衛文庫、美術館、郷町館、図書館）

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

・図書館交流事業（伊丹市）

事業完了時期	平成 24 年度～【実施中】
事業概要	図書館（ことば蔵）は、貸出サービスだけでなく、交流ゾーンを設け、市民、図書館職員による交流事業を実施し、回遊性の向上を図る。
事業効果及び進捗状況	平成 29 年度は 225 件のイベントが催され、延べ 9,578 人の参加があったことにより、周辺地区の賑わいや回遊性の向上に寄与した。

・文化施設連携事業（文化振興財団、伊丹市）

事業完了時期	平成 20 年度～【実施中】
--------	----------------

事業概要	本市の中心市街地にある個性的で特色ある文化施設において、統一パンフレットの作成など連携した情報発信や社会教育施設（図書館等）、中心市街地商店街等とのタイアップやスタンプラリーの実施など、有機的な連携を図る。
事業効果及び進捗状況	昨年に引き続き文化施設等のイベントや中心市街地のイベントをまとめて掲載する案内を発行し、周辺地区の賑わい創出に貢献した。また、美術館の特別展示に併せて関係する書籍を図書館で展示したり、講演を行ったり、スタンプラリーを行うなど、有機的連携を図った。

・観光 Wi-Fi 整備事業（伊丹市）

事業完了時期	平成 28 年度～平成 29 年度【済】
事業概要	中心市街地内に公衆無線 LAN の環境整備をすることにより、国内外を問わず観光客の回遊性を図る。
事業効果及び進捗状況	中心市街地における Wi-Fi 整備事業が完了し、文化施設の回遊性向上に寄与している。

・自転車駐車場整備事業（伊丹市）

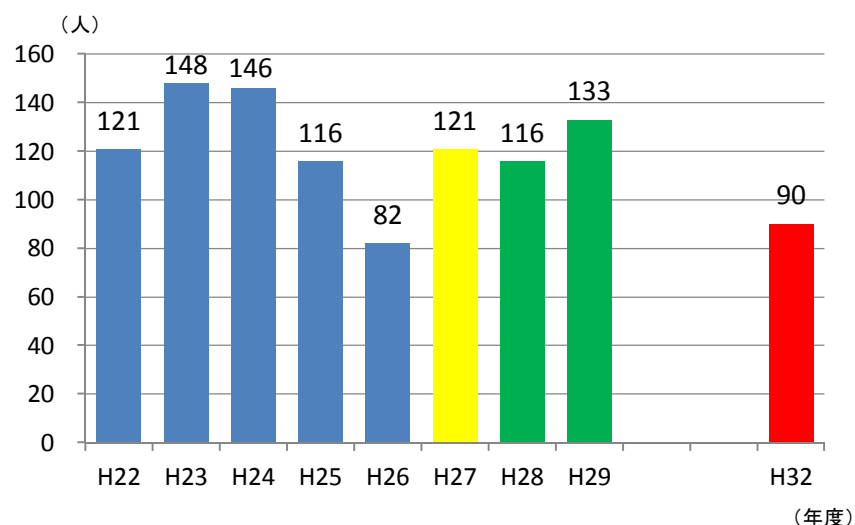
事業完了時期	平成 28 年度～平成 29 年度【済】
事業概要	円滑な通行空間確保に障害となる放置自転車の解消や、買い物客など来訪者の利便性の向上を図るため、自転車駐車場の整備を行い、歩行者優先空間の道路を再構築し、来街機会の増加を図る。
事業効果及び進捗状況	阪急伊丹駅付近に新たに 1 箇所 46 台分の機械式路上駐輪ラックを追加設置し、文化施設の回遊性が向上した。

●目標達成の見通し及び今後の対策

平成 29 年度は上記のとおり自転車駐車場整備事業において、あらたに路上駐輪ラック 1 箇所 46 台分が設置され、中心市街地区域内での路上駐輪ラックは計 8 箇所 379 台となった。そのため、来訪者の利便性の向上を図ることができ、回遊性向上に寄与し、文化施設の利用者数は昨年度を上回る結果となった。さらに平成 30 年度には機械式自転車駐車場 1 箇所 255 台も運用開始予定である。今後、来街者が回遊しやすい環境整備が実施されたことを活かし、体験型イベント事業の実施など、実施できていない文化施設の連携強化や、イベント開催を進めることにより、目標を達成することが可能と見込まれる。

②「中心市街地の空き店舗数」※目標設定の考え方基本計画 P81～P83 参照

●調査結果の推移



年	(店舗)
H27	121 (基準年値)
H28	116
H29	133
H30	
H31	
H32	
H32	90 (目標値)

※調査方法：中心市街地内を現地確認（視認ならびに近隣への聞き取り）

※調査月：平成 29 年 11 月

※調査主体：伊丹市

※調査対象：中心市街地

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ・空き店舗リノベーション事業（伊丹都市開発㈱、民間事業者など）

事業完了時期	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	空き店舗や空きフロアとして有効活用されていない低未利用部分を改修し、集客力の高い飲食店や小売店舗の再誘致を進めるとともに、店舗以外の活用も鑑み、サードプレイスの創出や来街者の回遊性を向上し、商業集積と中心市街地の魅力向上による交流人口の増加を推進する。
事業効果及び進捗状況	民間事業者等による空き店舗リノベーション事業は確認されず、空き店舗は増加に転じた。

- ・創業塾の開催（商工会議所）

事業完了時期	平成 18 年度～【実施中】
事業概要	創業準備中の方や、将来、起業を考えている方誰もが参加できる創業塾や、女性だけを対象にした女性創業塾を開催し、開業に向けてサポートし、商業の担い手を育成する。
事業効果及び進捗状況	10 月から 11 月にかけて創業塾を開催し、15 人が受講した。次年度以降も創業をサポートし、さらに中心市街地での創業を促進していく。

・空き店舗出店促進事業（伊丹市）

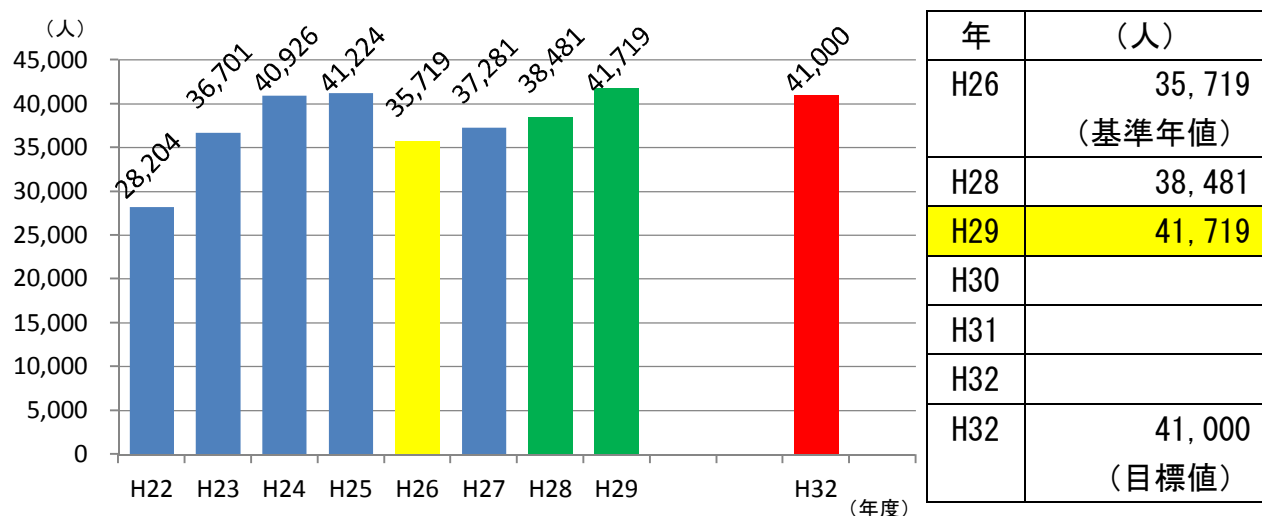
事業完了時期	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	商店街で空き店舗を使って新たに開業する方に一定期間の家賃等の補助をするなど、魅力ある商業集積を図る。また、新たな空き店舗や空き地での出店の際に支援を行う。
事業効果及び進捗状況	平成 29 年度は 9 件の申請があり、飲食店や小売店が出店したが、空き店舗は増加した。

●目標達成の見通し及び今後の対策

平成 29 年度は、空き店舗出店促進事業の利用による出店が 9 件あったが、全体の空き店舗は前年度から 17 店舗増加した。一方、創業塾の受講者数は前年度から 7 名増加しており、直近 2 年間で延べ 23 名となり、今後の商業の担い手の育成が一定進んでいるものである。今後は、空き店舗出店促進事業と併せてリノベーション事業の効果的な事業戦略を検討実施し、創業塾についても継続的に力を入れていく。また、実施及び空き店舗の発生要因や現状分析に取組み、中心市街地の商業活動を活発化させる事業を改めて精査、推進し、目標達成に向け、基本計画見直しの必要性の検討を行うなど、対策を講じていく。

③「2 軸における歩行者・自転車通行量」※目標設定の考え方基本計画 P83～P87 参照

●調査結果の推移



※調査方法：歩行者・自転車通行量を毎年 10 月の第 4 週日曜日に 5 地点において 10～20 時で計測
(今年度は天候考慮の上、11 月第 1 週日曜日に実施)

※調査月：平成 29 年 11 月

※調査主体：伊丹市

※調査対象：中心市街地内 5 地点（宮ノ前商店街（図書館前）、すし善前、阪急伊丹駅東、ニトリ南側、アリオ前）

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

・空き店舗リノベーション事業（伊丹都市開発(株)、民間事業者など）※再掲

事業完了時期	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	空き店舗や空きフロアとして有効活用されていない低未利用部分を改修し、集客力の高い飲食店や小売店舗の再誘致を進めるとともに、店舗以外の活用も鑑み、サードプレイスの創出や来街者の回遊性を向上し、商業集積と中心市街地の魅力向上による交流人口の増加を推進する。
事業効果及び進捗状況	民間事業者等による空き店舗リノベーション事業は確認されなかった。次年度以降も交流人口の増加を推進するため、空き店舗リノベーション事業を推進していく。

・ 空き店舗出店促進事業（伊丹市）※再掲

事業完了時期	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	商店街で空き店舗を使って新たに開業する方に一定期間の家賃等の補助をするなど、魅力ある商業集積を図る。また、新たな空き店舗や空き地での出店の際に支援を行う。
事業効果及び進捗状況	平成 29 年度は 9 件の申請があり、飲食店や小売店が出店したことから、近隣地域で歩行者・自転車通行量が 3,238 人増加し、回遊性が向上した。

・ まちなか大規模イベントの開催・拡充（民間、伊丹市）

事業完了時期	平成 10 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地では、現在、春・秋の宮前まつり、夏のふれあい夏祭り・愛染まつり・冬の蔵まつりなど四季おりおりに大規模なイベントが開催されており、このイベントを他のイベントと合同で実施し、中心市街地のにぎわいへと繋げるため、更なる入込数の増加を図る。
事業効果及び進捗状況	宮前まつりでは模擬店やフリーマーケット等の催しを実施した。また、冬の蔵まつりはダンスイベントを併せて開催するなど複数のイベントを合同で実施し、回遊性が向上した。

・ 伊丹 3 丁目分譲マンション建設事業（民間事業者）

事業完了時期	平成 29 年度【済】
事業概要	区域内の近隣商業地域に 10 階建の分譲マンションを建設し、まちなか居住を促進する。
事業効果及び進捗状況	伊丹 3 丁目分譲マンション建設事業については、当初予定より少し遅れたが、平成 29 年度に建設事業が完了し、近隣地域で歩行者・自転車通行量が増加、周辺地区の賑いや回遊性の向上に寄与した。

・ 文化施設連携事業（文化振興財団、伊丹市）※再掲

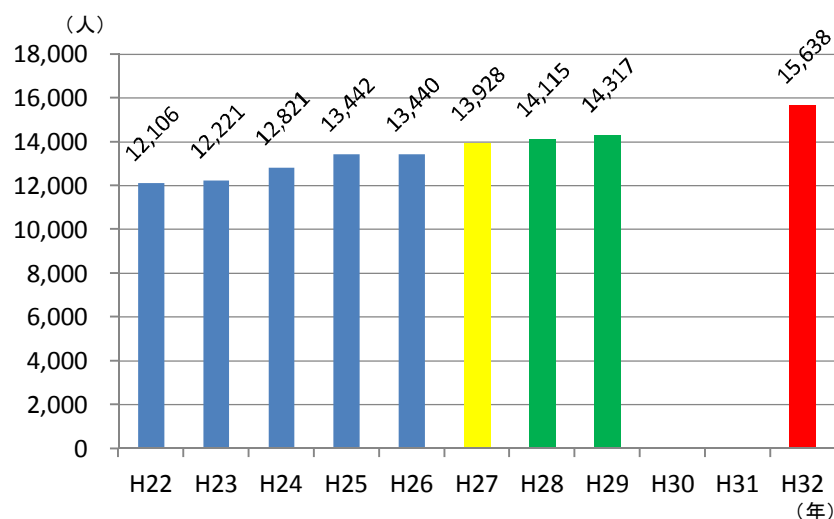
事業完了時期	平成 20 年度～【実施中】
事業概要	本市の中心市街地にある個性的で特色ある文化施設において、統一パンフレットの作成など連携した情報発信や社会教育施設（図書館等）、中心市街地商店街等とのタイアップやスタンプラリーの実施など、有機的な連携を図る。
事業効果及び進捗状況	昨年に引き続き文化施設等のイベントや中心市街地のイベントをまとめて掲載する案内を発行し、周辺地区の賑わい創出に貢献した。また、美術館の特別展示に併せて関係する書籍を図書館で展示したり、講演を行ったり、スタンプラリーを行うなど、有機的連携を図った。

●目標達成の見通し及び今後の対策

平成 29 年度は上記主要事業以外にも、伊丹まちなかバル・イタミ朝マルシェ・伊丹郷町屋台村・いたミーツ・アリフリ事業など複数のイベントを開催し、中心市街地の魅力創出に寄与している。これらの事業効果により通行量の値は目標値を上回ったものであるが、今後も基本計画に位置付けた事業の継続も含めた実施に取り組み、通行量数値への効果検証を引き続き行う。

④「中心市街地における居住人口」※目標設定の考え方基本計画 P87～P89 参照

●調査結果の推移



年	(人)
H27	13, 928 (基準年値)
H28	14, 115
H29	14, 317
H30	
H31	
H32	
H32	15, 638 (目標値)

※調査方法：国勢調査推計人口

※調査月：平成 29 年 10 月

※調査主体：伊丹市

※調査対象：伊丹市伊丹 1～3 丁目、中央 1～6 丁目、西台 1～5 丁目、宮ノ前 1～3 丁目

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ・伊丹 3 丁目分譲マンション建設事業（民間事業者）※再掲

事業完了時期	平成 29 年度【済】
--------	-------------

事業概要	区域内の近隣商業地域に 10 階建の分譲マンションを建設し、まちなか居住を促進する。
事業効果及び進捗状況	伊丹 3 丁目分譲マンション建設事業については、当初予定より少し遅れたが、平成 29 年度に建設事業が完了し、近隣地域において人口増加があり、周辺地区の賑い創出に寄与した。

・（仮称）やわらぎ保育園開設（認可保育事業）（民間事業者）

事業完了時期	平成 28 年度【済】
事業概要	市内の待機児童の解消を図るとともに、JR 伊丹駅周辺において認可保育事業を実施し、通勤する人の利便性に寄与することで、近隣集客拠点、まちなか居住を推進し、商業機能の底上げを図る。
事業効果及び進捗状況	平成 28 年度に定員 60 名のやわらぎ保育園が開園したことにより、近隣地域の定住人口増加に寄与している。

・（仮称）伊丹・サン保育園開設（小規模保育事業）（民間事業者）

事業完了時期	平成 28 年度【済】
事業概要	市内の待機児童の解消を図るとともに、阪急伊丹駅周辺において小規模保育事業を実施し、子育て層のまちなか居住を推進する。
事業効果及び進捗状況	平成 28 年度に定員 19 名のイタミ・サン保育園が開園したことにより、近隣地域の定住人口増加に寄与している。

・安全・安心見守りカメラ整備事業（伊丹市）

事業完了時期	平成 28 年度【済】
事業概要	全国で子どもが巻き込まれる痛ましい事件が多発していることや、平成 26 年に市内で発生した局地的豪雨等により生じた被害経験から、安全・安心見守りカメラを中心市街地に整備し、防犯にとどまらず、行方不明者の捜索等に多目的に利用することで、安全・安心な街なか居住を推進する。
事業効果及び進捗状況	中心市街地に安全・安心見守りカメラを約 40 台設置し、防犯や行方不明者の捜索に活用することで、近隣地域の定住人口増加に寄与している。

・ビーコン整備事業（伊丹市）

事業完了時期	平成 28 年度【済】
事業概要	安全・安心見守りカメラとあわせビーコン受信機を整備し、ビーコン発信機を持った子どもや認知症高齢者の位置情報を、保護者のスマートフォン等に通知するサービスを官民協働事業で実施するなど、安全・安心な街なか居住を推進する。
事業効果及び進捗状況	中心市街地に約 40 台設置しているカメラにビーコン受信機を設

進捗状況	置し、官民協働でビーコンによる位置情報通知サービスを行うことで、近隣地域の定住人口増加に寄与している。
------	---

・自転車駐車場整備事業（伊丹市）※再掲

事業完了時期	平成 28 年度～平成 29 年度【済】
事業概要	円滑な通行空間確保に障害となる放置自転車の解消や、買い物客など来訪者の利便性の向上を図るため、自転車駐車場の整備を行い、歩行者優先空間の道路を再構築し、来街機会の増加を図る。
事業効果及び進捗状況	阪急伊丹駅付近に新たに 1 箇所 46 台分の機械式路上駐輪ラックを追加設置することで、回遊性が向上し、近隣地域の定住人口の増加に寄与した。

・空き店舗リノベーション事業（伊丹都市開発㈱、民間事業者など）※再掲

事業完了時期	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	空き店舗や空きフロアとして有効活用されていない低未利用部分を改修し、集客力の高い飲食店や小売店舗の再誘致を進めるとともに、店舗以外の活用も鑑み、サードプレイスの創出や来街者の回遊性を向上し、商業集積と中心市街地の魅力向上による交流人口の増加を推進する。
事業効果及び進捗状況	民間事業者等による空き店舗リノベーション事業は確認されなかった。次年度以降も定住人口の増加を推進するため、空き店舗リノベーション事業を推進していく。

・三世代同居・近居促進事業（伊丹市）

事業完了時期	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	三世代家族の形成を促進し、高齢者の孤立を防ぐとともに「親・子・孫の絆」の再生を図ることを目的として、子世帯の転入を促し都市力を増進させる。
事業効果及び進捗状況	三世代同居・近居促進事業により、市内全体で 70 件、中心市街地で 5 件の申請があり、近隣地域の人口増加に寄与した。

・民間賃貸住宅ストック活用事業（伊丹市）

事業完了時期	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	市営住宅整備基準に適した優良な民間賃貸住宅の空き家を借り上げ、市営住宅として提供する。市営住宅の公設公営から民設公営へと転換していく。
事業効果及び進捗状況	民間賃貸住宅ストック活用事業については、現在まで市内で 66 戸の借り上げを進めた。

●目標達成の見通し及び今後の対策

平成29年度に予定されていた施策は概ね実施することができ、目標の達成は可能と見込まれる。主要事業以外では「シティプロモーション事業」において、なぎなたを題材とした映画とのタイアップによるPRや伊丹の魅力をPRする冊子を発行した。今後も継続して「三世代同居・近居促進事業」や「民間賃貸住宅ストック活用事業」をはじめとした定住促進事業を進め、中心市街地居住人口の増加を図っていく。